

	<h2>44. 消防章</h2>	★ 考査員認定	
-----------------------------------------------------------------------------------	------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) 一般家庭における火災の原因を3つ以上あげること。また、自宅の火元を点検し、点検漏れになりがちな所について説明すること。	口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅の間取図を元に火元を図示させるのも良い(場所・器具)。</li> <li>・ 火災の原因は、地域によって多少異なる。</li> </ul>
(2) 自宅にある防火用具と消火器材の使用法一覧表を提出すること。	作品(使用法)の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の内容について説明させるのもよい。</li> <li>・ 消火の3原則(除去、窒息、冷却)と用具、効果、対象物との関係。</li> </ul>
(3) 自宅、隊本部、自校及びその付近に火災が起こった場合、正確に消防署へ火災通報が急報できること。	実演および口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話、火災報知器、かけつけ。</li> <li>・ 火災通報の実演。</li> </ul>
(4) 自宅付近半径 100 mにある消火栓、防火用水に利用できる池、川などを地図上で明示すること。	作品(地図)の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 略図の提出(火災報知器は年々減少傾向にある)</li> </ul>
(5) 山火事の多い季節(月名)とその原因、及び山火事の消火方法について説明すること。	口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林野火災の原因、多発時期は地域によって多少異なる。</li> </ul>
(6) 次のスカウト用具が出火または消火時、役立つ場合を説明すること。  ロープ、おのまたはなた、グランドシート、フライシート、毛布、笛、布バケツ	実演	—
(7) 消防署または経験者の協力を得て、小型消火器による消火訓練の経験があること。	報告書の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告書には隊長の証印を要する。</li> </ul>
(8) 火災が起きた場合に、安全に家族を退避させ、貴重品を搬出する計画を立案し、提出すること。	作品(計画書)の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画書の内容については説明させるのもよい。</li> <li>・ 事前の備えと避難方法(複数)。</li> <li>・ 昼間と夜間を区別する。</li> <li>・ 通報、消火、物品運搬の分担など。</li> </ul>
(9) 次の場合を想定し、自己の安全と救出方法を述べ実演すること。  ア 火災または煙に包まれた家の中から脱出する方法  イ 幼老病者の救出法  ウ 衣服に火がついた者を救う法  エ 火煙中から失神した者を救い出す方法	実演	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 煙のひろがり方について理解(CO中毒)</li> </ul>
(10) 地震の際の火元の始末について、説明すること。	口述または記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震が始まった時と最初の大揺れが収まった時の対応。</li> </ul>